

「素晴らしい仲間との出会い」

約10ヶ月に及ぶ講義を振り返ると、不安からの始まりでした。 終了論文・自社計画の作成・パソコン研修・宿泊研修等々、時間割表を見る度に気が重くなり、卒業出来ないのではと思っている自分が居たのも事実でした。

そんな中、講義が始まり、資金管理・財務会計・安全管理・労務管理・環境問題・法令関係・特別講義『社員教育コンサルタント』等々、ある程度は把握していると思っていた自分が恥かしくなるほど勉強になり、営業所の経営を任されている身としては、本当に参考になる講義の数々で、日に日に身が入って行ったのを思い出します。

そんな私が物流経営士課程を受講するきっかけとなったのは、先輩物流経営士でもある弊社の役員からの指示でした。 実は3、4年前に受講してみないかと打診があり、業務上、出席が難しい事や、一番の理由として『40代にもなって今更勉強会もないだろう』と言う身勝手な判断から断っていました。 今回、受講せざるを得なくなり、いた仕方なく参加した物流経営士課程だったのですが、蓋を開けてみると、自社とは業態の違う様々な仲間と出会い、毎週1回の講義では、難しい内容に共に頭を悩ませ、講義が終わった後は上下関係を気にする事のない人間関係の中で、仕事の相談やプライベートの話で時間を忘れるほど盛り上がり、毎週水曜日が楽しみになるほどでした。

この課程を受講し、私にとって一番の財産は、参加しなければ出会えなかった、この素晴らしい仲間だと思っています。 この仲間とのネットワークが有れば、出来ない仕事など無い様にさえ思えます。

終了式を終えた後が本当の始まりとなる様、今後も皆が参加できる催しを定期的に関いて行きたいと強く感じています。

物流業界の担い手になるための10ヵ月

まず、この10ヵ月間は私の人生において非常に中身の濃かった期間にあたると思います。多岐に渡る講義の範囲に戸惑うこともありましたが、様々な先生方が受講者である私たちに少しでも分かりやすい様にと授業を下さって、今まであまり学習したことのない範囲も解りやすく学んでいくことが出来ました。その一点として、倉庫業や3PLなど、同業界でも普段の仕事ではあまり関わりの無いような部分の成り立ちから構造、現状などまで詳しくお話を聞くことが出来た上に、企業見学という形で目の当たりにすることもでき、とても刺激的でした。そういった意味では、宿泊研修での経験も非常に大きなものでした。同世代でありながら同じ業界で働き、同じ悩みを持っている方々と課題に取り組み、ディスカッションを通じての1つの問題を疑似的に解決していくという作業は、このような機会を除いてはなかなか体験出来ることではないと思いました。正直、最初は約1年という長い期間学習し、最終的に自社計画の発表と資格認定試験という2つで成果の集大成として結果を出すことに不安を覚えたこともありましたが、時間の無い中ここまで乗り切ったということに対しては自信を持つことが出来ましたし、そういった意味でも自分自身を皮剥くきっかけになったとも感じています。最後に、この文章上にはなってしまいますが、この10ヵ月の間お世話になった東京都トラック協会の関係者の方々、ご講義下さった先生方、そして一緒に様々な課題やディスカッションを行って互いに切磋琢磨することが出来た〇期の参加者の面々に感謝を述べたいと思います。

物流経営士課程 10 か月間の講義を終えて

今回、私がこの第〇期物流経営士課程に受講した理由としては、役員・役職者が第8期から順次受講しており、今後の自社のため自分自身の成長を考え受講しました。約10か月間、1度も休まず講義に出席できたことを会社すべての方々に感謝すると共に学んだことを今後活かせるように頑張らなければならないと思います。

物流経営士講義の中で一番印象に残っていることは、どの先生方も非常に分かりやすい講義、ご指導等で楽しく良い環境で沢山のことを学べたことです。特に宿泊研修では先輩経営者の方々から運送業界の現状や今までのご苦労なことなど、大変貴重なお話を聞けたこと。先生方の色々なところでの心遣いに深く感謝しております。

自社ではこの10か月間、以前からもですが、何人もの社員・契約社員・アルバイトなど人の入れ替わりが激しく、中には優秀なドライバーも去っていくこともあり、今後を支える人材の定着率が伸び悩んでいます。他の運送事業者の方々でもドライバー不足にはご苦労なされていることだと思いますが、今私が出来ることは幹部とのコミュニケーションを高め、風通しの良い社風、長続き出来る職場を作り幹部候補を増やすことで新規荷主獲得、業務拡大ができればと考えています。今後の運送業界は少子高齢化・人口減に伴い、若手運転手の数が減り大きな問題となり深刻な状況です。人口が減れば荷物量も減り中小企業がこの業界で生き残るには大変なこととなります。この業界の方々、講義に受講された方々には今後の日本経済を支える意味でも頑張ってください、今後もこの物流経営士課程を続けて頂き、この業界全体を盛り上げて頂きたいと思っております。

物流経営士課程の各講義において、多くの先生方にご指導ご鞭撻頂きましたこと、心より御礼申し上げます。

物流経営士課程において、色々のご準備、ご同行、ご連絡をして頂いたトラック協会の方々に深く感謝致します。

第〇期課程で他の会社の皆様に、様々な場面において支えてくださったこと、楽しく出席させて頂いたことに感謝致します。

約10か月間、第〇期物流経営士課程を無事終了出来、関わる全ての方々に感謝致します。大変お世話になりました。ありがとうございました。

価値ある1年

インターネットショッピングの急激な成長等により商業界が複雑化している昨今、物流業界も高度な提案が求められています。「ただ運ぶだけ」「ただ預かるだけ」では魅力を感じてもらえません。3PLやSCMといったロジスティクス技法が話題を呼ぶなど、顧客にも物流業者にも相互に利益が生まれる新たな提案が必要とされています。

『その荒波襲う物流業界にいる自分には何ができるだろうか。物流にはまだまだ可能性があるのではないだろうか。』1年前、そのような思いから第〇期物流経営士課程を受講しようと思いを決意しました。新たなことを提案するには、まずは幅広い知識を得ることが必要だという思いからです。また、物流経営士課程の最終目標は「自社計画の策定」です。そのため、知識を得るためだけに漠然と講義を聞くのではなく、自社の取り組んでいる業務に置き換えて考えながら受講することができるのではないだろうか、という思いもありました。

早いことか、そのような思いから1年が経過し、第〇期物流経営士課程の全ての課程が修了しました。『この1年間で満足のいく知識を得ることができただろうか、作成した自社計画の策定は価値のあるものだろうか。』この文章を書きながら、改めて考えています。

結論から言うと、大きな価値のある1年間だったと感じています。

1つ目の理由として、講義内容が受講以前に考えていたものより充実したものだったということです（もちろん全ての講義が実りあるものだったわけではありませんが）。これまで輸送業務をメインで取り扱っていた私としては、物流センター業務の知識や経営に関する知識を得ることができたのは非常に価値あるものだったと思います。

2つ目の理由として、「自社計画の策定」を作成することができたということです。完全に納得のいくものが作成できたわけではありません。むしろ、書く過程に意義がありました。何度も過去の講義資料を見直したり、自分が携わっている業務の知識を掘り下げて調べたりすることにより、どんどん自分の中に新しい提案が生まれてくるのを感じました。これからその新しい提案をさらに深く、深く掘り下げて形あるものにしていきたいと思えます。

そして3つ目。同じ物流業界に身を置く仲間たちに出会えたことです。講義が終わった後の交流会等を通して、様々な物流形態を聞くことができました。そこにはそれぞれが持つ利点と問題点が内在しているのを感じました。今後、各社の長所を伸ばしながら、短所を補い合うことができるような関係を築いていきたいと思えます。

このような価値ある物流経営士課程で学ぶことができ、この1年で関わったすべての方々、教育を受ける場を与えてくれた自社に対し、言葉に言い表せないほど感謝しています。物流業界の発展のために力になれるよう、今後益々成長していきたいと思えます。

～ 出席率 60%でも受講するメリット 100% ～

まず初めに、第〇期物流経営士課程において、親身に講義をしていただきました先生方、受講のご準備を進めていただきました東京都トラック協会の皆様方に厚く感謝申し上げる次第でございます。

さて昨年秋、上司から「物流経営士を受講してみるか？」とお話を頂きました。私は、先輩方から物流経営士の内容を聞いており、特にヒューマンネットワークが築けると思いましたので「是非、お願いします。」と即答し立候補させていただきました。

実際、私は新規物流センターの立ち上げ業務や転勤・消費増税による繁忙期があり、今年途中で辞退しようかと思った時期もございましたが、ギリギリ出席率 60%受講でき、修了を迎えることができました。その中でも特に大きく良かったと思う事が3点ほどあります。まず、1点目は、国際物流の知識と経営的な知識を得られた事です。私は今まで、国内常温の物流と現場運用の経験しかありませんでしたので、国際物流を知る事により日本の物流のサービスレベルが異常に高いことの認識。また、会社を経営するにあたっての労務管理や、黒字経営での倒産の理由など資金管理については大変勉強になりました。2点目は、同業他社様との問題の共有をできた事です。少子高齢化や免許制度による労働力不足を各社様悩まれていること。それに対する解決策を共有できた事は、今後の当社の解決策として大変参考になりました。3点目は、ヒューマンネットワークを築けた事です。現在も、当然協力会社とは数十社ビジネスとして付き合いしておりますが、物流経営士の仲間として損得抜きでの仕事の共有をするのは、初めての経験でした。利益を出すことより手助けをしたという仲間を築く機会を頂いた事に大変感謝しております。

受講した歴代の先輩方は、今でも仕事とプライベートの付き合いをしていると聞いておりますので、先輩方以上に第〇期物流経営士の絆を強くして、今後、後輩に羨ましがられるような仲間の付き合いをしていきたいと思いました。

最後に、まだまだ物流業界は厳しい状況だと勉強させていただきましたが、この物流経営士課程で得た知識、情報、考え方を今後の営業活動、業務に十分活かせるように日々精進して、自社の発展、物流業界の発展に貢献できればと考えております。

この10か月間、誠にありがとうございました。

以上